

**社会資本総合整備計画『計画的な修繕および防災対策による信頼性の高いみちづくり
(法面・舗装・附属物等)』の事後評価**

●委員

法面对策の事業の進捗状況について、目標値58箇所に対して実績値60箇所であり、目標を上回っているということだが、実際に対策が必要な箇所はもっとあるということか。

○事務局

対象事業における要対策箇所は289箇所ある。

●委員

やらなければいけない箇所の中で、目標値は5年間で実施する優先度の高い58箇所を設定したということによいか。

○事務局

そうです。

●委員

残りの箇所というのは引き続き対策をやっていくということか。

○事務局

そうです。

●委員

18ページの事業箇所で、対策予定1箇所に対して5箇所の対策完了や、逆に対策予定より対策完了が少なくなっているが、これはどういうことか。

○事務局

必要な予算をしっかりと確保しながら対策を進めているが、大雨等で崩れたりした場合はその箇所の優先度を上げて対策をしているため、差が生じている。

ただ目標設定している58箇所についてはしっかりと意識しながら対策を行っている。

●委員

道路の修繕は継続的な事業で、今回、その目標が達成できたということはあるが、舗装修繕でMCIという説明があったが、6ページの写真の模様のようなものを言うのか。

○事務局

あの模様は舗装のひび割れにアスファルトを溶かしたシール材を入れて水の侵入を応急的に防ぐために行っているもので、MCIではありません。

●委員

あと、法面对策は長浜が多いというのは、今年の雨でも崩れたということがあったかと思えます。法面が崩れれば重大な事故につながりますので、しっかりと修繕をしていただきたいと思えますし、限られた予算の中で目標を達成していただいているということですので、引き続き、よろしくお願ひしたいと思う。

●委員

法面对策の目標設定については件数でよかったのか。目標を達成するために細かい箇所をたくさんやれば達成することになる。あと、どうやって優先順位を決めたのか。

○事務局

道路管理者としては点検の結果で対策が必要な箇所は少なくしていくことが使命だと思っていますので、目標を件数としている。

また、地震時等に通行確保が必要な緊急輸送道路や孤立集落が発生しないための対策箇所については優先順位が高くなるし、事前通行規制区間での対策箇所も優先的に実施している。

●委員

その優先順位の考え方と実際に対策した箇所に矛盾が生じなければいいが、件数を目標設定にしてしまうと整合が図れないのではないかと思う。

○事務局

箇所毎に危険という設定をしており、対策規模的に大小はあるものの、危険箇所をなるべく少なくしていこうという取り組みをしているというのが現状である。

●委員

市民目線では修繕してくれる件数は多い方がいいですので、私は目標が件数という事には納得している。

●委員

実際に急いでやらなければならない箇所は多少お金がかかったとしても優先的に対策をしなければいけないはずですから、そういうところも考慮できるような指標にした方がいいと思う。

こういうことを言うといけませんけど、箇所数だけではよく似たところをやっしまえば見かけ上は目標を達成することになる。

○事務局

優先順位の高い事業の中で要対策箇所がたくさんあり、その中で優先度を見直しながら対策をしている。まったく関係のない箇所をやっているということはありません。

●委員

優先順位を付けるルールはしっかり持ってやっているということか。

○事務局

そうです。

●委員

アクションプログラムでは改良、改築事業はあると思いますが、今、説明をしていただいた修繕事業はマスタープラン的な計画に位置付けられたものがあって、その計画で優先度を設定しているといった全体プランの枠組みがあれば提示していただければと思いますが、どうか。

○事務局

道路施設については長寿命化修繕計画を策定しており、その計画に基づいて修繕を進めています。

●委員

老朽化するインフラが今後も爆発的に増えてきますから、優先度は必然的に必要になると思う。その一方で、緊急復旧は必要ですから、そのあたりの客観的に優先度を示した計画を何かの機会に提示していただけると分かりやすいと思う。

●委員

14ページ、大型車500台以上というのは立派な道路というイメージか。

○事務局

そうです。

●委員

それ以外の山奥の道路等を修繕しても目標には反映されないのか。

○事務局

反映されません。ただ、目標に設定していないだけであり、それ以外の道路の修繕も適切に行っています。

●委員

13ページ、実際の舗装修繕は37.4kmで、14ページでは23.4km良くなったとあるが、その差が大型車500台未満の道路での修繕延長ということか。

○事務局

その差は、良い状態だった舗装が劣化して悪くなった延長です。477kmのうち、年間で約2%ずつMCI5.1から落ちてしまっていることになります。

●委員

分かりました。

以上